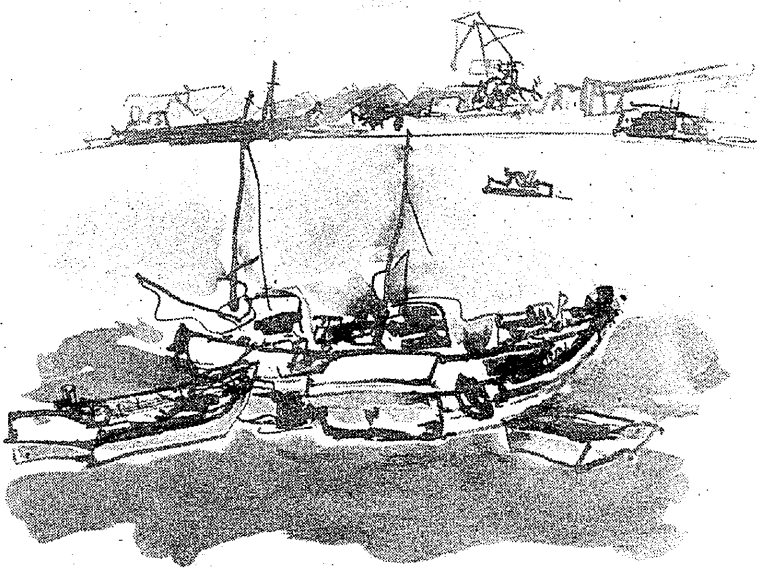


海と船と港



三池港

画

17分会 姉川良男

三池炭鉱が産出する石炭を積み出すために明治四十一年三池港が開港した。荷役の内容も随分と変わったが、三池港には島原への航送船や漁船もひんぱんに出入りする。



あらゆる差別をなくし、人間らしく生きようとするのが平和な社会を子供たちに引き継ぐために、核や戦争に反対して八の日平和行動のビラ配りをつづけています。

一九四一年十二月八日は第二次世界大戦の開戦日でした。ふたたび戦争の惨禍をくりかえさないために、平和を願い、決意の日として八の日を平和行動として全国で行動がおこなわれています。

八の日平和行動

西ブロック 山本エミ子

一枚一枚を大切にいられる奥さん、男性、若い男女、さまさまな人に手渡します。
「戦争は嫌です」といって受け取られるお年寄りの方、黙ってたたき手を押しつけて受け取らない日、靖国神社公式参拝、ス

60年度 国民生活白書

家計のゆとり感なし

項目の問題解決の方向示さず

経済企画庁が十一月一日、三章で構成する六十年度の「国民生活白書」を発表しました。
白書は、五十九年度の家計の所得・消費動向(第一章)について「家計黒字の増加率は高まったが、

年間、毎月八日に四つ山県境の和光前で行動してきました。
「お早うございます。戦争反対のビラです。お読みになって下さいますか?」と、複雑な気持ちを感じ

パイ防止法、軍事費増強と、日本の軍事大国化はますます急ピッチになっているようです。
軍靴の音が、すぐ足元に響いてくるような危機感をおぼえます。

大牟田では戦後四十年という節目をふまえて、今年中に「非核平和都市宣言」の具体化に向けて対応していくことになっています。
これも、平和を願う者が運動を積み上げてきた成果です。

皆さんとともに身のまわりを見つめ直し、今すぐ行っている国鉄分割・民営化反対運動と結合させて反戦・平和の声を一人でも多くの人びとに訴えていきたいと思

歳時記

健康促す 木の葉

神山恵三

中に両手の掌を入れた。いまでもそのときのシヨウガ湯の香りが記憶に残っているような気がする。
シヨウガ湯、タイダイ湯、桃の葉湯などいろいろな種類の葉湯が、いまでもいろいろな

歳時記

木の葉

木の葉の雨。木の葉の時雨。木の葉散る。木の葉焼く。というように木の葉と云っただけで冬になっていくのは、木の葉が散る形、地面に散り敷いた形、また枯れたままわずかに木の枝に残っている形などと言っている。雨や時雨は本当の雨でなく、葉である。



新年特集号の原稿を募集

組合員・家族、退職者、守る会の会員、新労組員の皆さん、

「みいけ」の「新年特集号」で、平和と民主主義、命と権利を守り、生活の向上のための創造をめざしてたたかう労働者の意欲を燃えあがらせてほしい。ふるって原稿を寄せてください。

原稿募集要領

短編創作・随筆・職場や家庭からのレポートなど
千二百字以内、一人一篇。
私の主張・保安
千字以内、一人一篇。
記念品を贈ります。

新刊紹介

荒木栄研究

「がんばろう」「三池の主婦の子守唄」などの作曲者である荒木栄の生涯と作品研究を系統的に記録していく会の創刊号。内容は戦前戦後の文章を中心に、料二百四十円。お問い合わせは「記録する会」へ。編集部にも原稿の紹介。年表、知人、友

